

---

# 五座衛門

JIN.KURA

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

五座衛門

### 【Nコード】

N1236A

### 【作者名】

J I N ・ K U R A

### 【あらすじ】

今の時代忘れがちな侍魂を思い出させてくれる男、それが五座衛門です。

## 五座衛門 1

僕はさすらいの侍、たけしでござる。

嘘です。まあ、侍と言っても今の時代に刀なんか、もてないし、  
普段は普通のサラリーマンやっています。あ、いや、ござるって付  
けた方が

いいのかな？正直、侍の事ほとんど知りませんわ、  
ただ、心の中はいつも侍魂で溢れているで、ござる。

僕みたいに心の中では侍！なんて人はいっぱいいると思います。、  
思うでござる。

でも世の中はすっかり変わってしまい、今の時代、  
本当の侍なんていないのかもしれない。

そう思っていました。

しかしね、、出逢ったんでござるよ、、本物の侍??に。

2

先日、インターネットで「侍愛好会」と言うホームページを見つけ  
たんです。

(めんどくせーので、ござるはもう使いません)  
そこで、、

「侍、大集合！！明日　に大集合！刀、弁当、ちゃんまげカツラ  
持参」

という記事を見つけました。弁当いるのかよ！？と思いつつも  
自分こそ侍！と思っていていた僕は、もちろんその会場に行きました。  
さすがに会場に着くまでは恥ずかしいので、

紙袋におもちの刀と弁当、ちゃんまげのカツラを入れて会場に行

きました。

うくん、誰も来ない。1人もいませくん、ってか企画者もいません、

僕は騙されたんだと思い、帰ろうとした、その時

「おぬし！！ちよいと待たれよ！おぬしはあれか？侍なのか？？」

ワシは五座衛門と申す！！」

そこにはバツチリ侍ファッションに身を包んだ1人の青年が立っていました。

僕はその青年を見て恥ずかしくなりました。だって侍の格好してんだよ！？

なに時代だよ！！僕がすっかり侍魂を忘れ、恥ずかしがっていると五座衛門が歩いて来たカップルの前に立ち、

「こるあ！！異性とへらへら町を歩きおって！！まったく近頃の若者は、

おぬし、成敗いたす！！」

わわ、町中で刀抜いちゃった、  
けど、カップルの男は、

「あくん、なんなの自分！？舐めてんの！？あん？潰しちゃうよ！？」

と、五座衛門の顔にパンチ食らわしました、  
五座衛門は、

「あ、すいません、拙者、間違ってたでござる、許してください。」

カップルは侍に唾を掛けて行きました、

五座衛門はしばらく無言でしたとき。

## 五座衛門 2

そんなこんなで僕は五座衛門（侍？）

に強引に喫茶店に連れて行かれました。

五座衛門はすっかりさっきの出来事を忘れ、

「おぬし！名前はなんと申す？なに？たけしとな？

おぬし、拙者みたいになりっぱな侍になりたいのか！？」

僕はさっきの事件ですっかり侍に冷めていたので、ひきつった愛想  
笑いをしていたら

「こらあ！！なんだおぬしは！？さっきからへらへらしておって！！  
なつとらん、  
なつとらんよ！あひゃ、しょうがない！おぬしを弟子にしてやる

うー！！」

と、勝手に盛り上がってます。しかも興奮したのか、汗ダクダク  
です。

僕が断る隙も無い感じでぺらぺら喋ります、

「まああれだよね、今の時代、なにが必要かって、やっぱり日本男  
児たるもの

侍魂だよね、ぺらぺら、ぺらぺら」

僕は日本男児のくせにぺらぺらと、よく喋るなあと思いましたが、  
なにも言わないでおきました。

喫茶店の店員が来ました。もちろん五座衛門を白い目で見てます。

「あのお、注文はお決まりでしょうか?」

僕は日本茶を頼みました。一応、日本男児っぽくね、次に五座衛門が

「ああ、えーと、拙者はレモンハーブティーと、シナモンパイで!!!  
ハーブティーは濃いめで!お願いするでござる!」

ええ?侍ですよ、横文字ばつか頼んじやったよ、なんだよ、ハーブティー濃いめって、この人全然、侍じゃないんだけど、

そしてシナモンパイをポロツポロと、こぼしながら侍談義を2時間熱く語られ、  
で、お会計、五座衛門がサプライズを起こします。

「うむ!お会計は拙者が払おう!!侍、日本男児はワリカンなんて言葉はないぞ!!!」

僕は奢ってくれるならいいかと、レジで支払う五座衛門を待つてると、

しばらくして、五座衛門が来ました

「あ、たけしさん、マジすいません!拙者、今日銀行行くの忘れてて

金が、ね?あ、1000円でいいんで、店出たらすぐ銀行行くんで!」

ははは、侍、万歳!!!

喫茶店を出ると五座衛門がすかさず

「じゃ！そういう事で！！また逢えたらいいな！！拙者これにて退散するよ！！！」

と、銀行に行かず走って帰っちゃいました。

慌てん坊の五座衛門さんは、免許書を落として行きました。  
また逢えるね、、ふふふ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1236a/>

---

五座衛門

2010年10月16日10時42分発行